

・伝統野菜の普及に向けて「農業委員会の取組み」



一般のオクラとの比較

日高町八代地区には、古くから育てられ守られてきた伝統野菜八代オクラがあります。

特徴はなんとといってもその大きさ。直径3センチメートル、長さが15センチメートルほどあります。

近年では生産者の数が減り、数軒の農家が栽培しています。

豊岡市農業委員会では、この八代オクラを広く普及すべく新たな取組みをスタートしました。

今年は平田会長以下9名の委員が、数少ない生産者の一人吉岡亮さんから種の提供を受けて栽培に挑戦しました。旧豊岡市、日高町、出石町、但東町と広範囲で作付けし生育状況を確認しました。結果、どの地域においてもおおむね良好だったようです。



八代オクラ畑で

収穫を終えた10月に栽培に挑戦した委員による反省会が開かれました。その時の意見の一部を紹介します。

- ・栽培は手間がかからず比較的容易だった。
- ・食感は毛が柔らかくて食べやすい。肉厚で粘りが強くもちもちでジューシー。
- ・一般のオクラと八代オクラを同じように調理して孫に食べ比べをさせたところ、八代オクラに軍配があがった。
- ・成長したすとすぐ大きく硬くなるので気をつけること。等々

このように評判は上々で、この取組みがきっかけとなり、この八代オクラが豊岡の特産品に育ってくれるとありがたいものだ、との声が上がっていました。

(齋藤善久委員)



反省会の様子



◆八代オクラに興味を持たれた方は栽培に挑戦してみませんか。

農業委員会では今年収穫したオクラの種を確保しています。必要な方にはお分けいたします。(数に限りがあります。)

(お問合せ先：豊岡市農業委員会事務局 TEL 21-9021)

編集後記

◇今年の稲作は、夏の高温や秋の長雨により苦勞の多い年でした。また、日本各地で大型台風や集中豪雨の襲来に遭い、農作物への被害も深刻です。まるで日本が亜熱帯地域になってしまったかのように錯覚します。

◇この異常気象には地球温暖化が深く関わっているといわれており、日本のみならず世界中の国々が深刻な事態に直面しています。

◇この度、地球温暖化対策の新たな枠組みであるパリ協定が多くの国の批准を経て発効しました。温暖化や気候変動対策待たなし！とする世界各国の危機意識の表れでしょう。省エネ推進や脱炭素化社会への転換が急務です。

◇一刻も早く温暖化にストップをかけ、四季のある美しい日本が永遠に続くことを願ってやみません。

(Y・S)



農業委員会だより第35号は私たちが担当しました



本格手打ち

殿さんそば

〒669-5372 兵庫県豊岡市日高町殿810
TEL.0796-44-1888 FAX.0796-44-1511
■営業時間：午前11時～午後5時 ■定休日：毎週火曜日
<http://www.tonosansoba.com/>



地元で育てた蕎麦粉を10割使用

「ひょうご安心ブランド」です

「安全で安心できる農産物を食べたい」という消費者の声に答えるとともに、「県民の皆さんに地元兵庫の安全・安心な農産物を届けたい」、「人と環境にやさしい農産物をつくる取り組みを正しく伝えたい」という生産者の思いから平成十三年に誕生しました。

「コウノトリの舞」ブランドです

「ひょうご安心ブランド」の認定基準に加え、豊岡市が独自に定めた要件を満たした、より安心・安全な農産物をブランド化したものです。